

## ●全国専門学校日語教育協会 定例総会（第23・24回）

4月3日に学校法人文化学園国際会議室にて、第23回全国専門学校日語教育協会の定例総会が開催された。出席は委任状を含め18校。議長に深堀副会長を選出、定足数の確認の後、議事録署名人に武田常務理事、池田監事が選出された。事務局より2012年度総会は今回を含め3回の開催予定となる旨説明し、2012年度事業計画・予算の審議に入った。

### 【第1号議案 2012年度事業計画】

総務委員会：①東日本大震災後の留学生の状況と対策

②日本の学校制度(特に専門学校の位置づけ)を海外に認知させるための対策を協議・実施する。

③文化庁「日本語教育推進会議」への対応

④文部科学省「高等教育機関に進学・在籍する外国人学生の日本語教育に関する検討会議」報告への対応

⑤国内外の高等教育機関との連携事業の推進

⑥新規会員校の獲得→この協会の活動についてPRを強化する。

教育研究委員会：①第25回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会の開催(東京)2013年1月第4週(1月25日(金))を予定。

※現在の最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞の他に賞や奨学金などの新設、イベントの活性化を図る。予算の修正を行う。

学生対策委員会：①国内外の高等教育機関との連携事業について再検討。

②外国人留学生の就労支援や受け入れについて専門学校が果たす役割の研究事業の推進

③ホームページの充実(多言語対応や他の関連サイトとのリンクなど)

④日本留学フェアの参加(資料参加を含む)

国際交流委員会：①国際交流セミナーの開催

アジア地域(チベット、モンゴル等)から対象を検討。

開催時期は6～7月の総会時を予定。

### 【第2号議案 2012年度予算】

事務局より予算説明を行い、弁論大会の賞を増やすため雑収入と予算・教育研究委員会経費の修正を決議し、承認されました。

### 【報告等】

事務局より被災者に対する学費等減免に対する助成について説明。基本的には各県ごとの対応になることなども説明し、閉会。引き続き、エール学園長谷川先生を講師にセミナー「原子力損害賠償について」を実施。資料に基づき合意までの流れとその際の状況を説明。参加の専門学校からもそれぞれ状況が報告された。

6月26日に学校法人文化学園国際会議室にて、第24回全国専門学校日語教育協会の定例総会が開催された。出席は委任状を含め18校。議長に深堀副会長を選出、定足数の確認の後、議事録署名人に大沼聡理事、秀林外語専門学校 細谷先生が選出された。事務局より全専各総連の新会長に小林光俊(東専各協会会長)が就任した旨、新学校種に関する文科省の一応の見解が発表された旨を報告し、議事に入った。

**【第1号議案 2011年度事業報告】**

**【第2号議案 2011年度決算及び監査報告】**

総務委員会、学生対策委員会、教育研究委員会、国際交流委員会の各委員長より事業報告事務局より決算報告、監事による監査報告が行われ、両議案とも異議なく承認された。

**【第3号議案 理事の退任と新任について 2011年度事業計画】**

2011・2012年度理事 谷川 いづみ（大阪YWCA専門学校 学校長）

大阪YWCA専門学校学校長を退任のため全専日協理事を退任することに伴い、新任として中山 羊奈（なかやま よな）（大阪YWCA専門学校 学校長）を推薦。全会一致で承認された。

**【報告等】**

日本語教育機関の認定について、日本語教育振興協会への対応や文科省や法務省との協議など今後の全専日協のあり方について意見を交わした後、閉会。引き続き講師に、東京大学教養学部 非常勤講師、駐モンゴル日本国大使館 前大使の城所 卓雄 氏に迎えて国際交流セミナー「モンゴルの日本語教育事情」を実施した。